

土砂災害に備えよう

土砂災害とは

主に梅雨期の集中豪雨や台風に伴う豪雨などによって発生するがけ崩れや土石流、地すべりが土砂災害です。すさまじい破壊力をもつ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。いつどこで起こるかを正確に予測することは困難であるため、いざというときに被害を最小限に食い止められるように、日頃から家族や地域の方と話し合っただき、また、災害に対する訓練を行うことが大切です。

土砂災害の種類

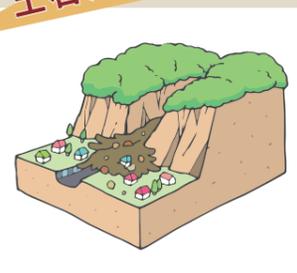
土砂災害の種類は、がけ崩れ、土石流、地すべりの3つです。以下に、それぞれどのような現象であるのかを掲載しています。

がけ崩れ (急傾斜地崩壊)



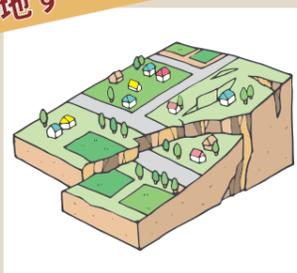
斜面が突然、崩れ落ちるのが、がけ崩れです。大雨や長雨で地面に水がしみ込んで起こりますが、地震によるものもあります。前ぶれがあまりなく、一瞬で崩れます。

土石流



山の斜面や川底にある石、土砂などが、長雨や大雨によって、一気に下流に流されるのが土石流です。流れるスピードは時速20kmから40km以上とたいへん速く、大きな岩がまじっていることもあります。

地すべり



地面は、固さや性質の違いいくつかの層が積み重なってできています。地下水が粘土のような滑りやすい層の上にたまり、その層から上の地面がゆっくり動き出すのが地すべりです。

土砂災害から身を守るため

土砂災害には前兆現象がよく見られます。大雨の時はとりわけ注意し、次のような現象を見つけたら周囲の人にも伝え、すぐに避難をすることが大切です。

また、前兆現象がない場合でも、降雨に不安を感じる時は自主避難をしましょう。土石流の速度は時速20kmから40kmあるため、発生してから避難を始めても間に合いません。

こんな前兆現象に注意！

がけ崩れ (急傾斜地崩壊)	土石流	地すべり
<ul style="list-style-type: none">●がけにひび割れができる。●地下水やわき水が止まる。●小石がパラパラと落ちてくる。●がけから木の根が切れるなどの音がある。●がけから水がわき出る。	<ul style="list-style-type: none">●山鳴りがする。●腐った土の匂いがする。●急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。●立木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。	<ul style="list-style-type: none">●地面がひび割れたり陥没する。●家や擁壁に亀裂が入る。●がけや斜面から水が噴き出す。●樹木や電柱が傾く。●井戸や沢の水が濁る。

近年起きた土砂災害の概況

平成23年の台風では、大規模な水害が発生しましたが、同時に、土砂災害においても大きな被害を被りました。徳島県内で、土石流6件、地すべり8件、がけ崩れ24件の計38件の被害を受けました。また、板野町においては、山の木々が倒れ道が寸断される等の被害が発生しました。



平成23年に起きた台風の影響で倒れる木々 (板野町大坂地区)

避難のポイント

●ポイント①

がけのそばにいる場合は、がけの高さの2倍の距離の場所まで離れましょう。土石流の場合は、流れから直角方向に向かって高い場所に逃げてください。



●ポイント②

「土砂災害警戒情報」が発表された場合は、危険度があがっている状態であるため、気象情報や防災情報に注意しましょう。「避難準備・高齢者等避難開始」が発令される前でも、身の危険を感じた時は自主的に避難しましょう。また、夜間に大雨が予測される時には、暗くなる前に避難することが大切です。



●ポイント③

土砂災害の犠牲者の半数以上は、お年寄りなどの避難行動要配慮者です。避難所までの移動に時間がかかるため、早めの避難を心がけましょう。



土砂災害の危険箇所を確認するための情報

本ハザードマップ以外にも、以下のような情報で土砂災害の危険箇所を確認することができます。

■板野町ホームページ

土砂災害(特別)警戒区域に指定された箇所の詳細な「土砂災害ハザードマップ」を作成しています。

<http://www.town.itano.tokushima.jp/docs/2017032800056/>

■徳島県総合地図提供システム「土砂災害警戒区域等マップ」

徳島県総合地図提供システムで、徳島県内の土砂災害(特別)警戒区域、土砂災害危険箇所の地図情報が公開されています。 <http://maps.pref.tokushima.jp/bousai/>

